



モーツァルト作曲
オペラ「フィガロの結婚」

ワンコイン・プレ・レクチャー

Le nozze di Figaro

モーツァルトの傑作喜劇「フィガロの結婚」がついに佐渡オペラに登場です。
聴き覚えのある序曲や、耳馴染みあるアリアが思い浮かびますね。
けれどやたらと多い登場人物に、複雑に絡み合った思惑…
そういえば一体どんな物語?どんな作品なのでしょう?
今回も心強い講師陣をお迎えして、楽しく予習しちゃいましょう♪

楽しく詳しく
オペラ予習!

第1回

ウィーンオペラの花形!?「フィガロの結婚」 ～オモテとウラの物語

2017 **5.16** (火) 11:30AM開演/2:30PM開演
(各回開場30分前・90分休憩なし)

モーツァルトの超傑作オペラ「フィガロの結婚」はどのようにしてこの世に生まれ、大ヒットしたのでしょうか。モーツァルトは何を想って創ったのでしょうか。当時の世相など、作品が生まれた背景や観客はどんな人々だったのか、これまで様々な形で上演されてきた歴史を紐解きながらご紹介します。オペラの達人、堀内修さんによるお話と数多の上演から、選りすぐった映像もお楽しみに。

ほりうち おさむ
講師: **堀内 修** (音楽評論家)



1949年東京生まれ。ウィーン留学後1970年代から執筆をはじめ、「音楽の友」等の音楽雑誌や新聞各紙で評論活動を展開。テレビ、FM放送等に出演するほか、講演も多数。オペラを中心にクラシック音楽全般の批評や解説を行う。主な著書に「はじめてのオペラ」「オペラ歳時記」「ワーグナー」(講談社現代新書)、「モーツァルトへの旅」「これだけは見ておきたいオペラ」(新潮社・とんぼの本)、「オペラに乾杯」(KKベストブックス)、「クラシック 不滅の名演奏」(講談社選書メチエ)、「オペラと40人のスターたち」(音楽之友社)、「モーツァルト、オペラのすべて」(「オペラの名盤」「ワーグナーのすべて」(平凡社新書)がある。

第2回

モーツァルト珠玉の歌芝居 ～音楽と演劇のマリアージュ

2017 **6.20** (火) 11:30AM開演/2:30PM開演
(各回開場30分前・90分休憩なし)

6月は、劇中でチェンバロに乗せてアリアの前に歌われる「レチタティーヴォ」といわれる台詞部分の仕掛けと魅力をご紹介します。モーツァルトが当時の最先端のスタイルで作曲した部分を実際に楽器と歌手による実演を交えて解説します。講師はオペラ、古楽、指揮、作曲…とマルチな才能で活躍中の、根本卓也さんが初登場!貴重なお話とチェンバロの演奏にもご期待ください。

生演奏
有り

ねもとたくや
講師: **根本卓也** (指揮者、作曲家、チェンバロ奏者)



東京藝術大学大学院修士課程(指揮専攻)修了。在学中に、新国立劇場オペラ部門元芸術監督の若杉弘氏に見出され、アシスタントとしてキャリアをスタート。更に、バッハ・コレギウム・ジャパンの鈴木雅明氏との出会いから古楽へと傾倒。大学院修了後、リヨン国立高等音楽院で、通奏低音のディプロマを取得。2011年に帰国後は、新国立劇場で音楽スタッフ(指揮)として年間を通して公演に寄与する傍ら、昨年5月には、ラモー《プラテ》で、古楽器のオーケストラを率いて、オペラ指揮者デビューを飾る。 <http://nemototakuya.info/>
出演: 楠永陽子(ソプラノ)、谷浩一郎(テノール)、木村孝夫(バリトン)

兵庫県立芸術文化センター 阪急 中ホール

〒663-8204 兵庫県西宮市高松町2-22 阪急西宮北口駅南改札ロスク / JR西宮駅より徒歩15分(阪急バス7分)

全席指定 **500**円(税込)

ご予約・お問合せ **芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255** [10:00AM-5:00PM 月曜休み ※祝日の場合翌日]

■ 芸術文化センター **0798-68-0255** <http://www.gcenter-hyogo.jp> 芸術文化センター会員先行予約受付開始 2/23(木) ※窓口での販売(残席がある場合)は2月28日(火)より

チケット予約

■ ローソンチケット特別電話 **0570-084-659** ※受付期間:2/23(木) 10:00AM~2/24(金) 11:59PM (芸術文化センター会員専用・音声自動予約) ※特別電話予約分のチケット引取は2/23(木) 10:00AM~3/5(日) 11:00PM (期間内にお引取がない場合、予約が無効になります。)

■ ローソンチケット **0570-084-005** Lコード[51361] ローソン・ミニストップ店舗内Loppi(ロッピー)で直接お求めいただけます。 <http://l-tike.com>

一般発売

2/26日

主催: 兵庫県、兵庫県立芸術文化センター



兵庫県立
芸術文化センター

モーツァルト「フィガロの結婚」を百倍楽しむために～ ワンコイン・プレ・レクチャー



2014年コジ・ファン・トゥッテ
プレ・レクチャーより

2017年7月、佐渡裕芸術監督プロデュースオペラでは、いよいよ「フィガロの結婚」が登場します。

モーツァルト作品としては「魔笛(2007年)」「コジ・ファン・トゥッテ(2014年)」に続き、3作目。

そしてこの「フィガロ」は、2013年に上演した「セビリヤの理髪師(ロシーニ作曲)」の続編としてのお話になっています。

伯爵の為に知恵を絞り、あの手この手で恋を成就させたフィガロでしたが、

本作ではフィガロ自身の結婚準備から物語が始まります。

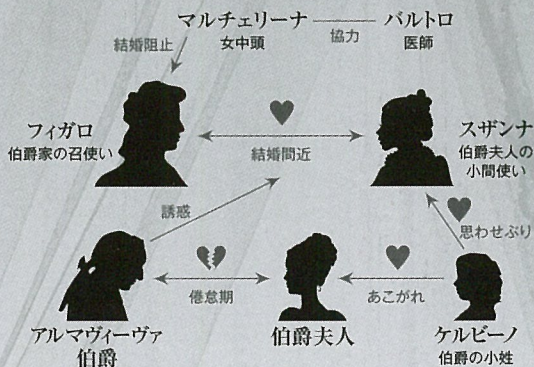
モーツァルト最強の相棒=オペラ台本作家のダ・ポンテとのタッグ、煌めく音楽の秘密について…

2回のレクチャーでたっぷりとおオペラ「フィガロの結婚」の魅力を味わってください。

あらすじ

アルマヴィーヴァ伯爵の館。フィガロはスザンナとの婚礼準備に張り切っている。しかしスザンナは伯爵の下心が自分にあることをフィガロに告げると、フィガロは急いで結婚式をあげなければと画策する。一方、フィガロに夢中なマルチェリーナや、フィガロに復讐をしたいバルトロは想い通りに2人の結婚を邪魔しようとする。

フィガロとスザンナ、伯爵夫人が手を組み伯爵を懲らしめる作戦を立てるが、伯爵夫人を慕う小姓ケルビーノが夫人の部屋を訪れたところに、伯爵がやってきて事態はさらにややこしいことに…。



モーツァルト オペラ年表

(今日おもに上演されている作品たち)

- 1781年 イドメネオ
- 1782年 後宮からの誘拐
- 1786年 フィガロの結婚*
- 1787年 ドン・ジョヴァンニ*
- 1790年 コジ・ファン・トゥッテ*
- 1791年 皇帝ティートの慈悲
- 1791年 魔笛

*ダ・ポンテ三部作



【音楽】ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

【台本】ロレンツォ・ダ・ポンテ

【原作】カロン・ド・ボーマルシェ

【指揮】佐渡裕

【演出】デヴィッド・ニース

佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2017

W.A.Mozart Le nozze di Figaro

フィガロの結婚

全4幕/イタリア語上演・日本語字幕付き/新制作

【主な配役(ダブルキャスト)】

アルマヴィーヴァ伯爵

アルマヴィーヴァ伯爵夫人

スザンナ

フィガロ



ユンバン・ワン



高田智宏



© Jason Joyce
ケイト・ロイヤル



並河寿美



© Shirley Suarez
リディア・スイサー



© Chris Gloag
中村恵理



ジョン・ムーア



町英和

【全8公演】2017 7/14(金) 15(土) 16(日) 17(月・祝) 19(水) 21(金) 22(土) 23(日) 各日2:00PM開演 (1:15PM開場)

兵庫県立芸術文化センター KOBELCO 大ホール A 12,000円 B 9,000円 C 7,000円 D 5,000円 E 3,000円

芸術文化センターチケットオフィス 0798-68-0255 10:00AM~5:00PM 月曜休※祝日の場合翌日 <http://www.gcenter-hyogo.jp> 主催/兵庫県、兵庫県立芸術文化センター(制作)